

平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	ロンドン議定書実施のための不発弾陸上処理事業		担当部局庁	水・大気環境局		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度		担当課室	水環境局海洋環境室		水環境課海洋環境室長 坂本幸彦			
会計区分	一般会計		政策・施策名	3. 大気・水・土壌環境等の保全 3-3 水環境の保全 (海洋環境の保全を含む)					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	陸上で発見される不発弾について従来行われてきた海洋投棄処分を中止し、民間委託事業として陸上処理施設で安全かつ確実に処理させることにより、我が国周辺の海洋環境の保全に寄与する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	平成22、23年度に発見され、陸上自衛隊が安全化措置を実施した不発弾(約42t)について、平成25年度末までに、民間事業者処理させるものである。 また、受託業者による不発弾の処理等が適切に実施されるよう陸上自衛官が所要の指導監督を行う。 なお、この不発弾の処理に当たっては、受託業者が不発弾の処理に必要な施設の整備から行わなければならない、処理が完了するまでに長期間(3年以上)を要することから、4年の国庫債務負担行為として事業を行っている。								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求			
		当初予算	394	644	1139	1239	815		
		補正予算	0	0	0	-			
		繰越し等	0	0	0	-			
	計	394	644	1139	1239	815			
	執行額	394	644	1139					
執行率 (%)	100%	100%	100						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)	
	陸上において処理された不発弾の量(実績)			t	42	34	26	-	
			達成度	%	-	-	-		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	不発弾の処理量は、陸上での発見量に比例するため、指標を示すのは困難である。			-	-	-	-	-	
単位当たりコスト	32,105,769 (円/t)		算出根拠	平成24年度契約額/平成24年度処分量=834,750,000(円)/26(t)					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	不発弾処理業務庁費	1,236	811	平成23、24年度に民間業者に処理委託した不発弾が減少したため。					
	職員旅費	3	4						
計	1,239	815							

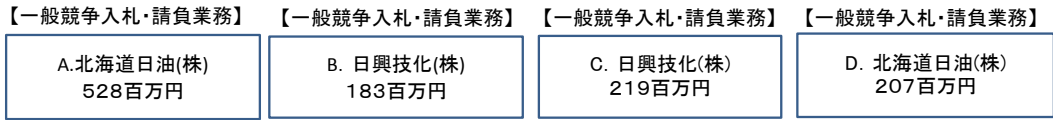
事業所管部局による点検					
項目			評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	不発弾の陸上処理について、不発弾が発見される場所や量等は、偶発的な要素が大きく、潜在的に広く国民全体に影響があり、不発弾処理については、高度な技術力を要することから、国の責務として事業を実施することが不可欠である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	一般競争入札によって選定された請負業者に対して支出をしており、競争性が確保されている。費目・用途も適切なものとなっている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○		
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	これまでの業務によって得られた知見を活用し、継続的に各種処理を実施している。実施にあたっては、各年度の処理量を計画し、適切に実施している。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○		
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	過去の実績を参考とし、引き続き競争性のある契約を実施し、事業の進捗状況を随時把握すると共に、効率的に事業が行えるよう仕様書の検討、見直しを行い、より効率・効果的な予算執行を行う。				
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	不発弾処理の重要性を考慮し、現状通りとする。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	引き続き適正な不発弾処理に努める。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	—	平成23年	77	平成24年	76

※平成24年度実績を記入。

環境省
1,137百万円

ロンドン議定書実施のための不発弾陸上処理費
【目的】
陸上で発見される不発弾について従来行われてきた海洋投棄処分を中止し、民間委託事業として陸上処理施設で安全かつ確実に処理させることにより、我が国周辺の海洋環境の保全に寄与する。

【支出委任】
防衛省
1,137百万円



不発弾等処分業務
【内容】平成21年度に発見された不発弾等の処分

不発弾等処分業務
【内容】平成22年度に発見された不発弾等の処分

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.北海道日油(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑務役務	ロンドン議定書実施のための不発弾陸上処理費	528			
本業務は確定契約であり、実績額報告書等の提出は不要であること。また、競争入札の結果の価格であることから費目・使途毎の内訳確認は困難である。					
計		528	計		0
B.日興技化(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑務役務	ロンドン議定書実施のための不発弾陸上処理費	183			
本業務は確定契約であり、実績額報告書等の提出は不要であること。また、競争入札の結果の価格であることから費目・使途毎の内訳確認は困難である。					
計		183	計		0
C.日興技化(株)			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑務役務	ロンドン議定書実施のための不発弾陸上処理費	219			
本業務は確定契約であり、実績額報告書等の提出は不要であること。また、競争入札の結果の価格であることから費目・使途毎の内訳確認は困難である。					
計		219	計		0
D.北海道日油(株)			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑務役務	ロンドン議定書実施のための不発弾陸上処理費	207			
本業務は確定契約であり、実績額報告書等の提出は不要であること。また、競争入札の結果の価格であることから費目・使途毎の内訳確認は困難である。					
計		207	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	北海道日油(株)	契約相手方 北海道日油(株)への完納払い	528	2	96.7

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日興技化(株)	契約相手方 日興技化(株)への完納払い	183	2	90.2

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日興技化(株)	契約相手方 日興技化(株)への部分払い	219	2	95.9

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	北海道日油(株)	契約相手方 北海道日油(株)への部分払い	207	1	99.8